

## プレミアム付商品券の取扱店を募集します！

10月1日(火)から利用開始を予定しているプレミアム付商品券の取扱店を募集します。ぜひご応募ください。

### プレミアム付商品券の概要

#### ▼販売単位

- ・1冊5千円分(500円券×10枚綴り)
- ・5千円分の商品券を4千円で販売します。

※対象者1人につき5冊(2万5千円分)まで購入できます。

#### ▼購入対象者数

5,700人(予定)

#### ▼販売数

2万8,500冊(予定)

#### ▼販売期間

9月24日(火)～令和2年3月31日(火)(予定)

#### ▼利用期間

10月1日(火)～令和2年3月31日(火)(予定)

▼一部利用できない商品やサービスがあります。

【例】商品券、プリペイドカード、たばこ、金融商品、税金・公共料金など

※取扱店の募集の詳細は、町商工会にお問合せください。

#### 問町商工会

☎(61)0871  
産業観光課 ☎内線263

## 大磯港みなどオアシスに向けて準備をすすめています

### 大磯港賑わい交流施設を整備します

町では、大磯港及び周辺地域を国土交通省の「みなどオアシス」として登録し、広くPRするとともに、町の周遊観光の拠点として、漁協施設、地域の特産物などの物品販売施設、飲食提供施設などを兼ね備えた「大磯港賑わい交流施設」を整備し、人や情報の交流と賑わいの拡大をめざしています。

現在、既存の大磯二宮漁業協同組合の施設を解体しており、その後、「大磯港賑わい交流施設」の建設工事を行います。建設工事は、令和2年3月まで実施する予定です。

### 大磯港港湾管理事務所を改修します

「大磯港賑わい交流施設」の整備に合わせ、大磯港港湾管理事務所の改修を行います。改修工事は、県が主体となり、港湾や周辺の地域資源に関する展示スペースの整備やトイレの改修などを行います。

工事期間は、9月以降を予定しており、工事期間中、仮設事務所へ移転し、大磯港の管理運営を行います。

仮設事務所の所在地や移転時期などの詳細については、改めてお知らせします。

### 工事期間中の立入の制限について

工事期間中、港湾内及び周辺地域で立入の制限等を行う区域が生じます。現地の案内をご確認ください。

大磯港内をご利用される方はご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

#### 問産業観光課 ☎(61)5719



大磯港賑わい交流施設 完成予想図

## イノシシ・シカを増やさない・寄せ付けない地域づくり

### 放棄果樹と鳥獣被害編

①放棄果樹に鳥獣が寄ってくる  
現在、町内には収穫されず放置された果樹が多くあります。例えば、ミカンや甘夏などのかんきつ類、カキ、クリ、ビワ、ウメ、クワの実などです。

これらの果樹は、以前は販売用や自家用として畑や庭で栽培されていたのですが、人間が食べなくなったことで、今ではイノシシやシカ、ハクビシン、アライグマ、カラスなどのエサとなつていきます。これが鳥獣を増やす原因になっていきます。

#### ②果樹がエサになっている

イノシシは甘みのあるものが好物です。山で植物の根や虫を食べていたイノシシにとつて、人間が食べる果実は大の御馳走で栄養価も高く、一度食べると病み付きになって、何度も食べに来ます。

ウメの実、イノシシはあまり食べませんが、落ちた実に小さな虫が湧いて、その虫を食べるにハクビシンやアライグマなどの小動物が寄ってきます。

カラスやヒヨドリがエサの少ない冬の時期に、放棄ミカン園に群がっている様子が町内でも見られます。

③エサにしないよう、しっかり囲うか、収穫しないなら伐採

昨年、町内の放棄果樹がどの程度、鳥獣のエサになるかを県が調べました。イノシシが出没している地区の沿道500mほどの区域で調査したところ、柵などの対策をしていないクリが126本植わっており、これは収穫期の2か月間で、イノシシ24頭分ものエサになる試算となりました。同様にカキでは、72本、37頭分という結果になりました。(※着果量は栽培時の約50%で試算)

このような状況では、駆除だけで鳥獣を減らすのは限界があります。エサを減らすために、しっかり囲って収穫するか、収穫しないのであれば伐採するなど、適切な管理に努めましょう。



落ちたミカンを食べるイノシシ

#### 問産業観光課 ☎内線262